

# 広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和5年5月20日発行

No.146



(一石栃白木改番所)

いつもならもうちょっと小出しに、順番に花が咲いていくのですが、今年の春は我先にと、どんどん咲きました。

写真は4月中旬頃のもので、このころ、宿場辺りはすでに葉桜で、ハナモモも終わりに近く、もみじの新緑が美しくなっていました。

ツバメが飛び交い、観光客もずいぶん戻ってきました。

田畑も忙しくなる時期です。明るい話題がこれからたくさん芽吹いてきそうな予感のするにぎやかさです。

小笠原 美雪

## 『学ぶ機会に感謝して－妻籠冬期大学－』

読書 坂本 満

「先生のヒゲは地磁気にでも感じるのでしょうか」と冗談交じりの質問も出た今回の冬期大学は、大塚勉放送大学長野学習センター所長の、近年の災害への不安に科学がどんな具合に対応してくれているのか、わかりやすく応えてくれた実のある講座でした。

## 【気になった4つの話】

- 1、マグニチュードが2段階大きくなるとエネルギーは千倍大きい。「へー、2倍ではない、1段階違うと32倍の違いになるのだ。」
- 2、内陸地震は直下型地震と言うが、これは人が住んでいる場所の下で起こるから。水を多く含む軟弱地盤があると揺れが強くなって震度も大きくなる。「なるほど」。
- 3、松本伊那佐久善光寺四つの平は活断層が関わってできている。木曾山地の両側にも逆断層があって、現在も山が上昇している。清内路峠断層、馬籠峠断層、上松断層などが通るところは山が窪んでいて峠になっている。生活の周辺に活断層がある。「なるほど」。
- 4、上昇する山から土砂が運ばれ扇状地をつくる。南木曾の谷筋には堆砂が多く、土石流の材料として準備されている。家を作るときは危険を知って作ることが大事。「そうだ、科学的にわかりやすく物事を説明してもらえることはありがたい。」

愛する会理事長からは、妻籠宿を尋ねる人々の姿もまた回復してきたという。土石流、火山、感染症など次々の困難、これからも向き合っていく知恵をこの講座でいくらかいただけたかな。



## 『祝！3年ぶりに開催。妻籠冬期大学講座』

評議員 藤原 崇道

新型コロナウイルス禍も3年目を迎える中、冬期大学が開催できたことを大変嬉しく思います。

冒頭で、理事長より妻籠～馬籠峠を越えるサムライルートについて、外国人ハイカーの回復の兆しがあるとの報告でした。日本人を含む旅行者も増え、次年度にはコロナ前の活気ある妻籠宿の姿が見られることを願うばかりです。

さて、講師である大塚勉先生ですが、長年にわたり地質学を研究され、最近ではブラタモリの安曇野編で、ガイド役としてご出演されたそうです。今回は、「中部日本の活断層と災害」というテーマで、木曾谷・妻籠地区の活断層についても詳しく、わかりやすく解説していただきました。

日本各地で起こっている地震には2種類あり、海溝にある大陸プレート同士の沈み込みで起きる海溝型地震、そしてプレートの沈み込みによって陸側プレートの歪みで起きる内陸地震があるとのこと。我々が住む長野県は後者で、特に新潟～神戸ひずみ集中帯に位置するそうです。ひずみ集中帯は地震活動が活発で、長野県北部地震・神代断層地震、木曾郡内では1984年の長野県西部地震、2017年に木曾町であった地震も関係しているそうです。

注目すべきは南木曾町とその周辺の断層についてです。坂下地区にある阿寺断層はよく知られていますが、それ以外にも上松断層や清内路峠断層があり、妻籠地区には馬籠峠断層が縦断しているそうです。活動間隔は1万～2万3千年とのこと、最新の活動時期は5～3千年前。我々の世代には関係ないような活動周期ですが、これはあくまで調査で得られた推測であり、根拠もありません。ですからもしかしたら明日大地震に遭うかもしれないということです。

最後に、先生は「今住んでいる場所の近くに断層はあるのか、どこが断層なのか。自身の揺れに弱い軟弱地盤や土石流指定区域なのかなど、災害に関心を向けるだけでも減災につながる」と述べられました。個人的にも地形・地層や土石流などの地質学に関係する事柄に興味があり、非常に勉強になりました。



# (公財) 妻籠を愛する会 令和5年度事業計画

## 1、妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

- (1) 現状変更行為申請受付事務及び指導・援助
- (2) 月例統制委員会の開催と申請事項の審議
- (3) 統制委員会の研修
- (4) 当年度建築物保存修理修景計画（南木曾町）への参画
- (5) 空き家に関する調査・研究・道標等の製作、講習会の実施
- (6) 防災施設（専用消火栓）の点検・修理計画の推進
- (7) 防災訓練の実施（文化財防火デーほか）
- (8) 全国町並みゼミ等研修会への各役職員の参加・参画

## 2、建造物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

- (1) 「一石柘立場茶屋」建物の維持管理・活用・通年開放及び周辺耕作地管理
- (2) 「白木改番所」の史跡公園整備
- (3) 中山道（信濃路自然歩道）沿線の景観整備 松枯れ対応
- (4) 所有建造物の維持管理・活用及び貸与等
- (5) 板葺き石置き屋根の保存技能の継承
- (6) 空き家所有者の維持管理委託及び改修の推進

## 3、文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

- (1) 「四阿」（妻籠城址・白木改番所）の維持管理
- (2) 休息施設（ベンチ等）の維持補充
- (3) ホームページ等による保存事業の情報発信
- (4) 道標・説明板の見直しと更新
- (5) 民俗資料の収集・公開・活用（古い農機具を利用した体験学習）

## 4、文化の向上を図るための調査・普及に関する事業

- (1) 広報「妻籠宿」及び事務局便りの発行配布
- (2) 第56回「文化文政風俗絵巻之行列」の実施
- (3) 第46回「妻籠冬期大学講座」の主催と勉強会の支援
- (4) 妻籠宿案内人の会への支援・育成
- (5) 古い時代の衣装の保存・収集・活用・着付け教室の実施
- (6) 妻籠及び木曾に相応した文化の伝承と開発・研究

## 5、文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

- (1) 保有山林地の維持管理（スナジ地籍・西山・尾又地籍）
- (2) 休耕地の景観整備
- (3) 重伝建地域の桜・ミツバツツジ・イロハモミジ等の花木の保護・植栽・育成と景観整備
- (4) 妻籠城址の環境整備

- (5) 外来動植物の駆除

## 6、重要伝統的建造物群保存地区区内において公開に必要とする事業の受託および支援事業

- (1) 町営駐車場管理事業
- (2) 旧妻籠中学校周辺の管理

## 7、関係機関、連携団体との集落保存、自然景観の保護、地域づくりに関する事業

- (1) 木曾風景街道推進協議会との協働活動
- (2) 関係団体との交流（国内外）
- (3) 南木曾町観光協会との協働活動

## 8、前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

- (1) 中央駐車場の経営及び環境整備
- (2) 取得資産の有効活用
- (3) 信州歴史的まちなみフォーラム 2023in 妻籠宿の開催

### 令和5年度 妻籠分館行事予定

・運営委員会・会計監査	4月 2日（日）
・役員年度始め総会	4月10日（月）
・環境整備	5月21日（日）
・環境整備	6月18日（日）
・和智埜大祭準備手伝い	7月16日（日）
・和智埜大祭子供神輿	7月23日（日）
・育成部行事（夏休み）	8月 6日（日）
・環境整備	8月27日（日）
・敬老会お手伝い	9月第2日曜日頃
・木曾郡公民館大会	9月24日（日） （木曾町日義）
・環境整備	10月 1日（日）
・区民運動会	10月 8日（日）
・しめ縄をつくる会	12月17日（日）
・町公民館大会	2月 4日（日）
・分館交流スポーツ大会	2月25日（日）
・文化祭の準備	3月16日（土）
・文化祭	3月17日（日）
・役員反省会	期日未定

- \*そば打ち講習会 月2回
- \*ソフトバレーボール 週2回
- \*二胡教室 月2回

※各団体への参加希望につきましては分館主事までお気軽にお問合せください。

## (一社) 南木曾町観光協会 深谷千嘉子

コロナ禍による観光の規制もようやく収まり始めた三月、中山道研修会の関ヶ原史跡めぐりに参加させていただきました。私は、妻籠宿の観光案内所で時々お手伝いさせていただいております。宿場の世話をされている方々のパワーあふれる働きや観光客の皆様の様子を驚いたり感心しながら、とても楽しく過ごしています。

今回の研修で案内人の方にお世話になったのは、妻籠と同じ中山道の宿場の中でも京都に近い関ヶ原宿と今須宿です。中心となるのは関ヶ原合戦史跡でしたが、その周辺はこれまで知らなかったこの街道ならではの多くのエピソードを含んだ場所です。

- ① 関ヶ原脇本陣、八幡神社、本陣庭跡
- ② J R 駅前旧中山道と北国街道
- ③ 今須峠越え、妙應寺庭
- ④ 今須宿問屋場
- ⑤ 美濃・近江国境「寝物語の里」
- ⑥ 石田三成陣跡（笹尾山）
- ⑦ 島津義弘陣跡
- ⑧ 開戦地・小西行長陣跡
- ⑨ 徳川家康最後陣跡

盛り沢山の内容のあるコースを歩きましたが、戦国時代のエピソードばかりでなく、②の中山道と北国街道の位置関係を知ることができた事や、⑤の常盤御前の物語が聞いた事など大変勉強になりました。また、⑥の笹尾山から実際に見下ろす決戦地等は最近のテレビの歴史番組で見るシミュレーションがそのまま頭に表現されました。

妻籠宿には今、世界中から観光客が押しかけています。一体何を求めてこれほどの人がやって来るのでしょうか。旅は異次元の世界を提供してくれます。旅の終わりに誰も自分自身が変わったことに気づくでしょう。形はどうであれ、私が関ヶ原を巡って感じたマジックを昔の人も、外国の人たちも感じているに違いありません。古いこの街道にはそんな力があるのではないのでしょうか。



〈笹尾山頂上：石田三成陣跡〉



〈美濃と近江の国境〉



〈妙應寺：家康腰掛石〉



〈関ヶ原合戦開戦地にて〉



〈徳川家康最後陣跡〉

## 一石栃立場茶屋を譲り受ける

理事長 藤原 義 則

ついこのあいだ新年の挨拶をしたばかりですが、今年も3分の1が過ぎ、年度も新しくなり春本番となりました。

4月3日は倉科様、15日は子安観音の御日待でした。関係者でお参りをし、お礼をいただきました。庶民の信仰の文化として長く続けたいと思います。

4月16日には茶屋前の「紅、八重、枝垂れ桜」が満開となり多くのハイカーが、「うわーすごきれい!」「良いタイミングで来られた」などと言いながら盛んにカメラに収めていました。年々開花時期が早くなり昨年より1週間早く満開となりました。

また今年はコロナ禍での制限がなくなりインバウンドのてくてくハイカーが過去最大数になることが予想されるデータが出てきました。(一石栃立場茶屋のデータによる)

立場茶屋はハイカーのおもてなしの拠点として、牧野良平さんの好意により2月に愛会が、譲り受けました。

今後もいつまでも「中山道に一石栃立場茶屋あり」と言われ、「ワンダフル・ビューティフル・エクセレント」の評価に「がっかり」の落ちが付かないように対応してゆく所存です。



〈昔の洗い張り板に国名を記入してもらいます〉



〈上：倉科様・下：子安観音〉



〈時々カモシカも現れます〉



## 〈お知らせ〉



### 歴史的まちなみフォーラム 2023 in 妻籠宿

長野県内各地で歴史的まちなみを活用したまちづくりに取り組む団体が一つに繋がることにより、その魅力を発信し、地域、世代を超えた多様な視点を取り入れた歴史的まちづくりに係る活動を推し進めることを目的として、令和元年度に「信州歴史的まちなみネットワーク」が結成されました。発足当初から妻籠を愛する会も加盟しています。会員の研鑽と新規加入を促進するため、毎年各地で「信州歴史的まちなみフォーラム」を開催しています。松代、小諸、安曇野と続き今年は妻籠での開催が予定されています。

【開催日時：2023年9月9日（土）、10日（日）】

9月9日（土）

10：00～12：00

妻籠宿まちあるき（本陣・脇本陣含む）

13：00～17：00 フォーラム

國學院大學観光まちづくり学部教授陣

まちなみネットワーク顧問吉澤氏

会場：妻籠町並み交流センター

20：00～22：00 夜なべ談義

9月10日（日） オプションツアー

10：00～13：30

馬籠峠頂上～妻籠宿 徒歩で散策

妻籠宿到着後解散

- ・実行委員会（妻籠を愛する会、南木曾町観光係、南木曾町教育委員会、南木曾町観光協会）を立ち上げ、準備を進めています。

妻籠地区の皆さん、ネットワーク会員の方々には後日申し込みの案内を配布いたします。

大勢の方々の参加をお待ちしています。



〈昨年安曇野でのまちなみフォーラム〉



### 南木曾町・妻籠健康マラソン 4年ぶりに開催へ

期日：2023年6月4日（日）

会場：妻籠町並み交流センター

（スタートとゴール）

スタート時間とコースを簡単に紹介します。

9：30 10km男女

妻籠町並み交流センター妻籠宿内→青田→

（軽便道）→和合南で折り返し→（軽便道）→

塚本宅折り返し→（軽便道）→青田→

妻籠町並み交流センター（着）

9：35 6.1km男女

妻籠町並み交流センター→妻籠宿内→青田→

（軽便道）→蛇石通過後折り返し→（軽便道）→

塚本宅折り返し→（軽便道）→青田→

妻籠町並み交流センター（着）

9：40 3.3km中学生

9：41 3.3km小学生5～6年

9：42 3.3km小学生3～4年

9：43 3.3km小学生1～2年

3.3kmコース

妻籠町並み交流センター妻籠宿内→青田→

（軽便道）→塚本宅折り返し→（軽便道）→

青田→妻籠町並み交流センター（着）

9：44 1.9kmペア手をつないでゴール（保育園）

妻籠町並み交流センター→妻籠宿内→

（恋野経由）→妻籠町並み交流センター（着）

※今回は妻籠町並み交流センターからの出発です。

スタート直後に妻籠宿を通過します。早めの応援、よろしくお願いします！



〈2019年第39回大会の様子〉

## 宿場 暦

- 2月 2日：妻籠地域振興協議会（理事長）、撮影許可審議委員会  
 4日：第45回妻籠冬期大学講座（46名参加）  
 6日：木曾谷狼煙あげ連絡会、木曾風景街道推進協議会役員会（理事長）  
 7日：聖教新聞撮影（9日）  
 10日：南木曾町リニア中央新幹線対策協議会（理事長・常務）  
 13日：妻籠宿連絡調整会議（博物館・理事長、常務）  
 14日：木曾風景街道推進協議会中山道研修下見（関ヶ原・理事長）  
 17日：氷づくり（常務）  
 18日：第14回氷雪の灯まつり（氷運び・常務）  
 20日：統制委員会、広報「妻籠宿」145号発行  
 21日：おひな様飾りつけ（観協）  
 22日：町観光係打ち合わせ（理事長、常務）  
 24日：関東運輸局「観光街道」ヒアリング（理事長）  
 27日：撮影許可審議委員会  
 3月 1日：撮影許可審議委員会、株アビリブ撮影  
 2日：令和5年度元気づくり支援金ヒアリング（合庁・理事長）  
 7日：木曾風景街道推進協議会中山道研修（関ヶ原：9名参加）、NHK撮影  
 9日：指定管理打ち合わせ  
 10日：三役会  
 13日：理事会  
 16日：日本ナショナル・トラスト協会理事会（東京・理事長）  
 20日：統制委員会  
 22日：長野県立大学学生来宿講演会（交流センター・理事長）、広報部会  
 24日：信州の歴史的まちなみネットワーク運営委員会（松本市・理事長）  
 27日：評議員会、南木曾町博物館協議会（理事長）  
 29日：妻籠観光協会総会（理事長）  
 4月 1日：駐車場臨時職員辞令交付  
 3日：倉科様祭礼（役員参拝のみ）  
 4日：観協おひな様片付け・五月人形準備（常務）  
 9日：三役会  
 10日：観協作業（常務）  
 11日：撮影許可審議委員会  
 15日：子安観音祭礼（役員参拝のみ）  
 19日：妻籠宿案内人の役員会  
 20日：統制委員会、木曾地域観光ガイド代表者会議（案内人の会：2名）  
 24日：広報部会  
 25日：会計監査  
 26日：木曾地域文化遺産活性化協議会総会（木曾町文化交流センター・理事長）  
 27日：令和5年度妻籠地区内工事に伴う工事説明会（妻籠町並み交流センター・理事長）

景観保持のため、宿場内での路上駐車はやめましょう!

## 統制委員会審議事項

### 2月20日

- ・危険木伐採（町：軽便道） 1件
- ・道路改良工事（町：第3工区・発電所～第3P） 1件
- ・雨樋修繕（教委：ふれあい館） 1件
- ・梅の木伐採・支障木伐採（教委：博物館） 1件
- ・手摺設置（教委：馬籠峠・大妻籠） 1件
- ・電気機器用冷却水配管の修繕（関電：蘭発電所） 1件
- ・群状択伐（関電：妻籠地区内） 3件
- ・配電線設備の保安伐採（中電：吾妻橋・細野山・県道7号線沿・下り谷） 4件

### [その他]

- ・支障木伐採、開閉器撤去（中電）
- ・水道管布設（提出済：仮設工事・リニア関係）

### 3月20日

- ・令和5年度重伝建補助事業（屋根修繕：中町・寺下） 2件
- ・本柱新設及び低圧線、引込線張替（中電：中町） 1件
- ・変圧器の揚替ほか（中電：恋野） 1件
- ・高圧線の張替・開閉器の撤去（中電：神社北） 1件

- ・看板新設（大妻籠：個人） 1件
- ・群状択伐（関電：吾妻橋・下り谷） 2件
- ・筍伐採（関電：保存地区内） 1件
- ・店舗修繕（馬籠峠頂上：個人） 1件
- ・旧妻籠小学校グラウンド整備（町） 1件

### [その他]

- ・妻籠町並み交流センター駐車場整備変更（町）
- ・道路改良工事（町：提出済）

### 4月20日

- ・玄関引戸改修（下町：個人） 1件
- ・駐車場屋根修繕（中町：個人） 1件
- ・倉庫除却（恋野：個人） 1件
- ・群状択伐（関電：妻籠地区内） 1件
- ・備品倉庫新築（上町：妻籠観光協会） 1件
- ・引込線新設（中電：上町・上在郷） 3件

### 【統制委員会からのお知らせ】

重伝建地区内で家屋の修繕等行うときには、事前に統制委員会への届出が必要となります。申請用紙は愛する会にあります。

また、補助金が出る場合もありますので、町教育委員会又は愛する会事務局にご相談ください。

発行：公益財団法人妻籠を愛する会  
 〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2159-2  
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

下町 磯村 琢 弥

今回は鯉岩横の道を紹介します。この道は、はじめは水の流れの右側が歩けるようになっていて、途中で水を渡り左側を歩く必要があるのですが、2年前の大雨でかなり傷んでしまいが歩きづらくなっています。

しばらく歩いていくと左右に道が分かれていて、右の道のほうが歩きやすいのですが、こちらは私有地で、左の道が地図上の道なのでこちらを進みます。石が何個か並べられており辿って上り、生活道路を渡ってコンクリート舗装の細い農道を目指します。農道に入るとすぐ左に小屋があり、一つ目の田んぼを越えたら左に曲がります。この田んぼと田んぼの間の斜めの土地は、明治の地図では広い道として描かれていますが、現在は細く描かれ道の跡も見えません。



〈石に沿って生活道路へ〉



〈ここに道があるのです〉

この足をくじきそうな斜めの土地を歩いて沢へ向かい、沢に出たら右に曲がります。なぜ、ここでこんな樹形になっているのでしょうか。一段上に大きな石が並んでいて田んぼになっていない土地があり、奥にぽつんと古い墓石もあるので、この土地となにか関係あるのかもしれませんが。

さて沢沿いに少し歩き、右側に石段がある少し先で沢を渡ります。石が折り重なり渡りやすくなっていますが、よく見るとくさびを使って割った石が間に入っているのが誰かが作ったのかもしれない。この沢から水を引くためのU字溝に沿って上のコンクリート舗装の道へ上がります。

ここで道は上と下とに分かれ、上へ向かう道は軽便道に出ますが、地図上の道は小屋までで終わっています。下へ向かう道はコンクリート舗装の左端が地図上の道になっています。この道は町営住宅で右に曲がらず恋野集会所の横の車庫に向かって斜めに斜面を降りていくことになっています。まったく道などないのですが、国土地理院の1970年代の航空写真を見ると道があるように見えます。



〈少し先で沢を渡ります〉



〈水路に沿って上ります〉



〈ここを斜めに下ります〉

次回は玄蕃稻荷を通して第一駐車場を目指します。